

## 平成28年度 第6回 府中市文化財保護審議会議事録

**日時** 平成29年3月23日（木）午前10時  
**場所** 北庁舎第1会議室  
**出席者** 田中会長、猿渡副会長、坂詰委員、中村委員、福嶋委員 以上5名  
**事務局** 江口課長、渡辺補佐、荻野事務職員、廣瀬事務職員  
**傍聴者** なし

**会長** それでは、報告事項（1）について、説明してください。

### 報告事項（1）平成28年度の文化財保存・活用事業結果及び平成29年度の文化財保存・活用設計について

**事務局** それでは、報告事項1、「平成28年度の文化財保存・活用事業結果及び平成29年度の文化財保存・活用計画について」ご説明いたします。

ふるさと文化財課における本年度の事業は、大きく11ほどの事業がございました。

まず1点目として、国史跡武蔵国府跡（国司館地区）の保存整備事業がございました。第1期工事については、今年度11月まで実施設計の取りまとめを行い、それ以降は工事に着手しております。来年度いっぱい工事を行い、平成30年3月には竣工の予定となっております。第2期工事については、本年度から、中心市街地活性化基本計画との連携を図りながら、賑わい施設の調査を行い、来年度、民間事業者から事業提案を募集し、設計に着手することとなっております。竣工は平成32年3月の予定となります。

2点目、市史編さん事業でございます。原始・古代部門をはじめとする計6部門を立ち上げ、調査研究をおこなっております。今年で二年目となり、来年度も継続して、調査研究を進めていきます。

市史編さん審議会も併せて開催し、今年度は2回、来年度は3回の開催を予定しております。市史編さんだよりも昨年度3月末に第1号を刊行いたしました。今年度も2回、来年度も3回刊行して参る予定となっております。また、東京農工大学や東京外語大学などとも連携を図りながら、協働し、進めております。

3点目、国史跡武蔵府中熊野神社古墳の整備事業でございます。古墳西側の古墳公園の整備については、今年度、6月から2月まで基本設計を行いました。来年度は、実施設計に移り、平成30年度には第1期工事に着手することが決定しております。

また、工事以外では、古墳保存会の方々と連携しながら、古墳まつりを開催し、また、来年度は結成10周年ということで、本年5月末にはイベントも予定しており、5月28日（日）には、坂詰先生の記念講演会が開催される予定です。

4点目、国天然記念物馬場大門のケヤキ並木の保護管理事業についてです。危険木の伐採等、保護や安全管理については、通年を通して行ってまいります。それとともに昨年度行いました緊急危険度診断調査を受けまして、その結果を今年度検証し、保護管理計画の見直しを行っております。来年度は本格的な見直し・検討に移ってまいります。

5点目、ふるさと府中歴史館の管理運営についてですが、くらやみ祭り展や夏やすみ発掘展、発掘お宝展など各種展示事業などを行い、また、公共施設マネジメントへの対応といたしまして、ふるさと歴史館2階で、昨年度末から今年度9月まで地震展を行いました。

6点目、公文書の収集・保管・活用事業についても、文書の選別調査と、廃棄する文書の選別・廃棄等を引き続き行ってまいります。

7点目、指定文化財の維持・管理については、高倉塚古墳をはじめとする指定文化財の日常的な維持・管理だけでなく、今年度は特に武蔵国府跡国衙地区と熊野神社古墳の保存改修を行いました。来年度は特に白糸台掩体壕の保存・改修を行う予定でおります。

8点目、埋蔵文化財の保存・活用についてです。文化財保護法第93条、94条に基づき提出される発掘届の受理とそれに対する指導を年間を通じて行っております。およそ年間300件ほどとなりますが、今年度も今日現在280件ほどとなっております。また、本発掘調査が必要となった場合の調査の実施も行っております。とくに今年度は、市役所新庁舎建設に伴い、大規模調査が発生しておりますが、その実施や、民間の発掘業者主体で行う調査に対しても指導等適宜行っております。

9点目、東京都市区町村文化財保存整備協議会については、例年開催されるものですが、今年度の協議会は府中市を会場として、実施されました。来年度は、会場は国分寺市となりますが、引き続き協議会には出席し、文化財の保存・整備にあたっていく所存です。

10点目、郷土の森博物館の管理・提携についてでございます。今年度指定管理者の更新がありました。プラネタリウムの更新事業もございまして、今年度基本計画を策定し、来年度は実施設計と、工事を行う予定です。平成30年4月、再来年度オープンを予定しております。博物館の諸施設についても改修を行い、先生方にも前回審議会後、ご覧いただきましたが、今年度は越智家住宅等工事を行っています。来年度は、エレベーターや館全体の改修計画等策定す

る予定であります。

最後11点目として、川崎平右衛門没後250年記念事業がございます。今年度はウォーキング等のプレイベントがございました。来年度、5月20、21日（土・日）がメインイベント、3月には、小金井桜の植樹等も予定されております。

以上、大まかではありますが、本年度の文化財の保存・活用事業の内容と来年度の計画について、ご説明申し上げます。

事務局からの説明は、以上でございます。

**会長** 特に例年と変わったところはどこですか。根源的には変わったところは無いのですか。

**事務局** 根源的には11点目の川崎平右衛門没後250年記念事業が新たな事業ですので、それが付け加わっておりますが、その他の事業は日常の業務で引き続き行っています。

**会長** 小金井桜は何本くらい植えるのですか。

**事務局** 5本です。

**会長** 何処に植えるのですか。

**事務局** 郷土の森博物館の平右衛門広場に植える予定です。

**福嶋委員** あの木は大きくなるので、それを考えて配置してください。ヤマザクラですから同じ時期に咲いてくれるでしょうから5本あれば良いですね。

間隔を考慮しておかないと、密植してしまうと良くないので、それと前にサクラの木があった場所に植えないことです。植えるのであれば土を取り替えるくらいはすることです。忌地現象があるのでサクラの後にサクラを植えるのは駄目なのです。ですから、過去にサクラを植えていた場所に植えるならその場所の土を取り除いて別の土に入れ替えてから植える。平右衛門広場なら前に植えたことはないでしょうから大丈夫だと思います。

あと、ヤマザクラは大きくなるので10m位の間隔は欲しいです。街路樹は7m位の間隔で植えますが、あれだと狭すぎます。ですから、小金井桜の古木がどれ位間隔を空けているか見て参考にされると良いとおもいます。

会長 多磨霊園の表門に桜が植えてありますが、枯れるのですね。そこにまた新しい木を植えると育たないのだよね。

福嶋委員 それも忌地現象が出ているのでしょうか。ただ、業者はそういうこと知っているはずですけどね。

会長 枯れはしないけど育たない。

福嶋委員 枯れないけれど育たないというのは忌地現象かもしれません。それから、日当たりを良くして、他の木の下にならないようにしてください。サクラは日当たりの十分良い場所で、根を踏みつけないというのがとても大切です。根が浅いのでその辺の配慮ができるところに是非植えてください。小金井桜のヤマザクラを植えることはとても良いと思いますが、現状、小金井桜の場所には一番多いのはヤマザクラですが、オオシマザクラやオオヤマザクラ、カスミザクラとか他のものも入っていて、八重のサクラもあり、昔の姿から変わっているのです。

事務局 御殿地の国司館地区にもヤマザクラを植えるので、そこにも小金井桜を植えるのが良いのかなと思っておりますがいかがでしょうか。

福嶋委員 日本人の心情に合う木なので良いと思いますね。

事務局 今回は、NPOの『小金井桜を守る会を守る会』が主体で植えていただくことになっております。

福嶋委員 専門家集団ですから問題ないと思いますね。ヤマザクラも色々な変種があるので、ピンクっぽいものから白いものまでです。良いと思いますね。

(荻野注：おそらく福嶋先生は、ヤマザクラは野生種で花の色や開花時期の違いといった個体差があり、それがソメイヨシノといった同じ色で一斉開花する単一品種が普及する前の花見の状況の再現になるのは日本人の心情に合っていて良いと仰っているのだと考えられます。)

会長 地震展は何処で開催したのですか。

**事務局** 歴史館2階の公文書史料展示室です。

**会長** 100年前の新聞が展示されているところですか。

**事務局** はい、そうです。

**会長** 国司館地区は今どのような状態ですか。

**事務局** 第1期工事中です。

**会長** 垣根はどうするのですかね。

**福嶋委員** (こちらはウバメガシを紹介しましたが、計画の資料にはアラカシとありましたので、) どうされるのか分かりません。

**会長** 来年3月には第1期の工事は終わるのだから垣根はどうするのかな。

**事務局** すみませんが、再検討させていただいて良いでしょうか。

**会長** それでは、これで終了とします。

次回は平成29年度第1回文化財保護審議会です。日程は5月26日(金)午前10時からが第1候補、5月22日(月)午後2時からが第2候補、5月23日午後2時からが第3候補として、本日欠席の委員さんとも調整して決定することになりました34:59。